



学校評価アンケート結果の報告

7月に、保護者の皆様から学校評価アンケートに答えていただきました。また、職員による学校評価アンケートも実施しました。

以下、アンケート結果、並びに今後の改善点についてお伝えいたします。

■保護者向けアンケート結果

- 1 回答数 31 (94%)
- 2 回答方法
 - ・AからEの5段階で当てはまる記号を選択し、可能な範囲でその理由を記述した。
 - A: そう思う B: どちらかと言えば、そう思う C: どちらとも言えない D: あまりそう思わない E: 全くそう思わない
- 3 分析
 - ・AとBの回答を「肯定的評価」、DとEを「否定的評価」として分析し、今後に向けた改善策をまとめた。

(1) 目標に向けた教育活動への取組		肯定的評価	否定的評価
質問 1	学校は教育目標（なかよく たのしく たくましく）の実現に向けた教育活動に取り組んでいると思いますか。	100% (100%)	0%
質問 2	学校は、同世代や異学年との関わりから地域の人たちとの関わりへと、人間関係を広げていく活動に取り組んでいます。お子様は、この活動を通し、同年代や異学年、あるいは地域の人たちとの人間関係に広がりが見られると思いますか。	84% (91%)	3% (0%)
質問 3	学校は、十日町・津南地域の人・もの・ことと関わり、豊かな経験を積み重ねる活動に取り組んでいます。お子様は、この活動を通して、将来に必要な知識技能を身に付け、自分への自信を深めていると思いますか。	77% (84%)	0%
質問 4	学校は、身近な人や生まれ育った地域のために、自分のできることを考え仲間や地域の人と実行する活動に取り組んでいます。お子様は、この活動を通して、自分の暮らしを豊かにしたり人の役に立つことをしたりして、自己有用感を高めていると思いますか。	71% (90%)	0%

- ・授業参観や行事等、保護者が来校した際に、「みんなが仲良く活動に取り組んでいる」等の子どもの姿から、教育目標が具現化されていると評価している。
- ・十日町小学校との交流活動や宿泊体験、校外学習等を通して経験を広げているとの評価が多い。一方で、「障害者理解」を求める声がある。今年度始めた同世代間交流も「障害者理解」を図る機会としていく。
- ・「地域での見聞を広げるチャンスを多く持っている」「大人になるための知識を身に付けている」など、肯定的な評価が多い。一方、「将来、自分が何をしたいのか具体的に決まっていないと知識技能を身に付けて自信を付けることは難しいと感じる」との評価もあり、児童生徒の実態に応じ、知識技能を学ぶ機会や将来につながる学習が今後も必要である。また、「子どもを見ているだけではよくわからない」や「正直分かりません」等の「どちらとも言えない」C評価が多くなっている。日頃の学習や活動の目的、意義を丁寧に保護者に説明する必要がある。
- ・自己有用感を高めるために、自己評価に加え、家庭・校外学習先等からの他者評価の視点を取り入れていく。

(2) 教育活動に取り組んだ成果

		肯定的評価	否定的評価
質問 5	お子様は、毎日楽しく登校していますか。	94% (90%)	3% (0%)

・安定した登校ができるように、保護者や関係機関との連携、校内支援会議等を行い、引き続き個に応じた必要な支援を継続していく。

(3) 本校の情報発信

		肯定的評価	否定的評価
質問 6	学校は、各種たよりやホームページなどを通して、教育活動を地域に発信していると思いますか。	100% (100%)	0%

・学校の教育活動やたより等への関心が高い。引き続き、たよりやHPを中心に発信を続ける。学校便りは現在市内外20カ所以上の施設などに配布し、掲示している。

(4) 安心して安全な教育環境

		肯定的評価	否定的評価
質問 7	学校は、子どもたちにとって安心して、安全な教育活動を行うよう必要な対策を行っていると思いますか。	100% (100%)	0%

・職員のきめ細やかな対応、誠実な対応が評価されている。安心、安全な環境は全ての教育活動の土台となり、その上で有意義な教育活動がなされる。

(5) 1学期の教育活動を振り返って（自由記述）

質問 8	特に、今後も続けてほしい教育活動がありましたら、ご記入ください。理由があればご記入ください。
○社会に出ることを目標として、いろいろな学校や施設や職場のいろいろな人と関わりを持ってほしいです。	

質問 9	特に、新たに必要と思われる教育活動がありましたら、ご記入ください。理由がありましたら、ご記入ください。
○各個人にあわせた特別授業があるのもいいかと思いました。作業療法、言語等、週一1限等の実施。	
○十小、十中校区を越えた交流ができるのであれば。	

質問 10	特に、改善を要する教育活動がありましたら、ご記入ください。理由がありましたら、ご記入ください。
○なし	

質問 11	特に、必要がないと思われる教育活動がありましたら、ご記入ください。理由がありましたら、ご記入ください。
○なし	

・前期の教育活動を評価し、後期以降も維持継続を望む意見がある。
・個別の学習では、児童生徒の実態に応じて学習内容を決めて取り組んでいる。個別面談等を通して、学習内容を保護者に説明することが必要である。

(6) 自由記述（一部抜粋）

○いつもお世話になっています。この前柏崎のプールに行ったら、プール帽子にヘルプマークを印刷している物を見つけました。送料500円で無料でもらえるそうです。プールの施設にいった時、どうしたらハンデキャップが伝わるかなーと考えていたのですごくうれしく思いました。学校からそういうのもあると発信はできませんか？親たちも共有できるといいです～。話すのは時間的に難しいので情報ノートの。あと療育手帳をスマホ登録できるアプリもあります。出先でとても助かります。ミライIDというアプリです。みんなに知ってほしいです。	
○いつもありがとうございます。高等部卒業までは特に心配（不安）はありません。不安でしかたないのは、学校卒業後の自分（母）の置き場です。仕事を今の時間そのまま続けられるのか？どういう生活になるのか？親が病気などになったらどうなるのか？などなど。以前校長先生がおっしゃっていた「18歳の壁」についてももっとくわしくお話を伺いたいです。	
○日々心が安定しない我が子をその日、その時であたたかく見守り対応して下さい、先生方には感謝しております。困ったことを相談するとすぐに対応して下さい、心が軽くなります。息子は先生たちが自分の気持ちを分かってくれ、対応して下さいことで安心してすごせていると思います。校長先生をはじめ先生方には本当に感謝しております。今後共よろしくお願い致します。	
○いつもお世話になっております。学校での生活とても頑張っています。学校での様子では毎日楽しそうに過ごせていて良かったです。色々な交流もあり、いい経験です。先生方、ありがとうございます。	

■職員向けアンケート結果

1 回答数 24 (100%)

2 回答方法

・AからEの5段階で当てはまる記号を選択し、可能な範囲でその理由を記述した。

A: そう思う B: どちらかと言えば、そう思う C: どちらとも言えない D: あまりそう思わない E: 全くそう思わない

3 分析

・AとBの回答を「肯定的評価」、DとEを「否定的評価」として分析し、今後に向けた改善策をまとめた。

・表中の () は前年度の数値である。

(1) 目標に向けた教育活動への取組

		肯定的評価	否定的評価
質問 1	私たちは、教育目標に向けた教育活動に取り組んでいると思いますか。	100% (100%)	0%
質問 2	私たちは、同年代や異学年との関わりから地域の人たちとの関わりへと、人間関係を広げていく教育活動に取り組んでいると思いますか。	100% (100%)	0%
質問 4	私たちは、十日町・津南地域の人・もの・ことと関わり、豊かに経験を積み重ねる教育活動に取り組んでいると思いますか。	96% (92%)	0%
質問 6	私たちは、身近な人や生まれ育った地域のために、自分のできることを考え仲間や地域の人と実行する教育活動に取り組んでいると思いますか。	92% (92%)	0%

・学部全体の授業や十日町小との交流に力を入れ、充実させてきている。学部間の交流についてやり方を考えながら活動を拡充していきたい。

・小中学部ともに、1学期中から積極的に校外学習に出掛け、地域で学ぶ機会を増やし地域の方々との交流を進めてきているので、これを継続していきたい。

・生まれ育った地域のために自分たちのできることを実行するためには、実態に応じた学習活動を計画したり支援のあり方を工夫したりする必要がある。

(2) 教育活動に取り組んだ成果

		肯定的評価	否定的評価
質問 3	児童生徒は、上記2（質問2）の活動を通して、同年代や異学年、あるいは地域の人たちとの人間関係に広がりが見られていると思いますか。	96% (88%)	0%

・十日町小との交流が広がり、自然な関わりが昼休みの自由交流に見られるようになってきた。思い思いの遊びなどを一緒に楽しんだり、関わりたくて一緒に活動をしている様子が見られている。同世代間交流で他校との関わりがどのように広がっていくのか、その成果と課題を整理したい。また、地域の方との人間関係の広がりには、発達段階に応じてどのような学習活動や支援が必要なのか、今後の学習活動を通して整理したい。

		肯定的評価	否定的評価
質問 5	児童生徒は、上記4（質問4）の活動を通して、将来に必要な知識技能を身に付けて、自分への自信を深めていると思いますか。	92% (88%)	4% (4%)

・あいさつや公共施設等の利用の仕方やマナーなどこれまでの体験学習によって、自信や生きる力につながっていると感じているが、自信を深めるための指導支援の仕方に工夫が必要である。また、自信の深まりの評価について、何をどう評価するのか、学習活動を通じて明らかにしていく。

		肯定的評価	否定的評価
質問 7	児童生徒は、上記6（質問6）の活動を通して、自分の暮らしを豊かにしたり人の役に立つことをして、自己有用感を高めていると思いますか。	87% (83%)	0%

・教育活動を通して、上級生は下級生のために行動する姿や、ルールや仲間とかかわり、職員への話し方などの学びを実践しようとする姿が見られてきている。このような姿がどう自己有用感の高まりにつながっているのか、今後の教育活動を通して見極めていく必要がある。

(3) 本校の情報発信

		肯定的評価	否定的評価
質問 8	本校は、各種たよりやホームページなどを通して、教育活動を地域に発信していると思いますか。	96% (100%)	4% (0%)

・各種たよりなどをホームページを通して地域に詳しく発信している。今現在紙でも配付しているため、ペーパーレス化を図るなど発信の仕方を検討する必要がある。

(4) 安心で安全な教育環境

		肯定的評価	否定的評価
質問 9	本校は、子どもたちにとって安心で、安全な教育活動を行えるよう必要な対策を行っていると思いますか。	88% (96%)	4% (0%)

・本校で学ぶ子どもたち一人一人にとって、不安な状況が可能な限り軽減され、心理的安定性が保障されるよう、学習環境や学習内容を考えて日々の授業を実施していくことが求められる。状況によっては、個別対応が即可能になるような環境設定や人的配置を検討していく。

(5) 目指す学校の姿

		肯定的評価	否定的評価
質問10	本校は、一人一人の強みや弱みを共有し、信頼関係のある居心地のよい職場環境を整えていると思いますか。	57% (78%)	13% (4%)
質問11	本校では、互いにコミュニケーションがとれ、共通の目標を持って仕事ができていると思いますか。	63% (67%)	12% (8%)
質問12	本校では、互いの指導方法や教育観を大切に、自分がやりたいと思う授業ができていると思いますか。	79% (63%)	8% (8%)

・職員一人一人には、何かトラブルが起こった時には話し合い、各人ができることに取り組み、カバーし合うことが必要だという意識は十分にある。しかしながら、実際に話し合ったりやれることをやったりする場合において、想いの食い違いやとらえ違いが生じて、うまく対応策が講じられなかったことがある。そのような食い違いやとらえ違いがなぜ生じるのか、まずは相手に対する自分自身の接し方を見つめ直し、不十分さに気付くことができなければ改善に向かわない。「今よりよくなる」ために、職員一人一人が互いに弱味を補完し合い、共通した目標に気持ちを揃えるよう、自分を変えていくこと（自己改革）を実行している。「今よりよくなる」ために自分にできることは何か、考えて行動していこう。

(6) 1学期の教育活動を振り返って

質問13	特に、今後も続けた方がいい教育活動
------	-------------------

・計画的な交流活動 ・自由交流 ・出前授業 ・クリーン活動 ・職場体験学習

質問14	特に、今後新たに必要と思われる教育活動
------	---------------------

・同年代の生徒や近隣の高等部生徒との交流活動

質問15	特に、改善を要する教育活動
------	---------------

・同世代間交流の実施方法や内容に工夫が必要。希望校数の調整必要。
・商店街訪問の実施時期や回数、内容の改善が必要。他の教育活動との兼ね合いを考える必要あり。

質問16	特に、今後必要がないと思われる教育活動
------	---------------------

・宿泊体験学習を3～5年生とし、6年生は修学旅行に力を注ぐようにしたらどうか。時期が9月であれば余計検討が必要。
・職業基礎（清掃）を実施せず、缶バッジや紙工に時間をかけたらどうか。

今後の予定

9月の予定

12（木）小学部修学旅行～13日まで

19（木）中学部福祉施設見学

25（水）郡市小学校親善陸上大会（5・6年生）

26（木）中学部大地の芸術祭見学

27（金）全校朝会

保護者の皆様、前期の学校評価アンケートにご回答いただき、大変ありがとうございました。多くの項目で肯定的な評価をいただき、さらなる高みを目指していきます。肯定的な評価ではなかった項目もありましたので、後期の課題としていきます。

保護者の皆様、後期も学校の教育活動にご協力よろしくお願いいたします。



十日町市立ふれあいの丘支援学校

〒948-0022 新潟県十日町市学校町1丁目614番地32

TEL 025-752-7471 FAX 025-752-7472

✉ fureainooka-tk@edu.city.tokamachi.niigata.jp

